Splunk Cloudへの移行

クラウド戦略を採用すれば、組織の規模に関係なくビジネスの俊敏性を高め、コストの削減、市場投入までの時間短縮、イノベーションの促進が可能になります。Splunkソリューションの移行に取り組むときは、適切なリソースとツールを活用することが大切です。

Splunk Cloudのメリット

Splunk® Cloud™では、Splunkの機能がSaaS(Software-as-a-Service)として提供されるため、インフラストラクチャを追加で購入、管理、導入せずに、データから導出したインサイトに基づいてより的確な意思決定を行い、適切なアクションにつなげることができます。インフラストラクチャ管理と管理タスクをSplunkにアウトソースすることにより、短期間で価値を実現し、セキュリティと信頼性を確保すると同時に、優先度の高い基幹業務に人材を集中できます。

- **優れたサービス：**ITバックエンドの管理はSplunkのエキスパートに任せて、お客様は実際の業務でのデータ活用に集中できます
- **少ないインフラ要件：**インフラの整備と管理はSplunkが行うため、クラウドベースのデータ分析ソリューションをすぐに利用できます
- **高い信頼性：**GSAのFedRAMP PMOによりFedRAMPのインパクトレベル「Moderate (中)」の認定を受け、ITARで「U.S. persons (米国民)」の要件を満たし、SOC 2 Type 2、ISO 27001、PCI、HIPAAに準拠しています。

導入方法

まずは、無料のSplunk Migration Assessment Appをダウンロードします。このAppでは、オンプレミスの現在のSplunk環境を分析し、Splunk Cloudに移行するための設定を把握できます。

Splunk環境の新規構築と既存設定の移行の選択

Splunk Cloudへの移行時には2つのオプションを検討する必要があります。

1. 新しいSplunk Cloud環境でスタックを一から構築し、手動でアプリケーションをインストールし直して、ダッシュボードを再作成します。このオプションは、既存の環境がシンプルな場合に適しています。また、新しいユースケースを取り入れる場合や、過去の設定を整理したい場合にもお勧めです。
2. 新しいSplunk Cloud環境をオンプレミスの既存のSplunk Enterprise環境と同じように設定したい場合は、既存の構成や設定をコピーできます。必要に応じてすでに取り込んだデータをコピーし、履歴サーチをシームレスに行うこともできます。このオプションを選択する場合は、Splunkのプロフェッショナルサービスを契約する必要があります。詳しくは、アカウントチームまたはps-sales@splunk.comにお問い合わせください。

いずれのオプションを選択する場合でも、既存の環境からSplunk Cloudに必要な項目を正確に移行し、完了後に状況を検証できるように、既存の環境を維持することを検討してください。

移行前の確認事項

1. オンプレミスのSplunk環境とSplunk Cloudの違いおよびSplunk Cloudで利用するサービスを理解する
   - Splunk CloudとSplunk Enterpriseの機能はほぼ同じです(重複率95%以上)。それでも、異なる機能がいくつかあります。相違点の詳細については、こちらを参照してください。
   - Splunk Cloudは、標準化されたサービス(SaaS)として提供されます。Splunkのオンプレミス設定やホストされた設定を移行するときは、標準サービス(SaaS)との互換性を保つために修正が必要になる場合があります。
   - 基盤となるクラウドサービスプロバイダーはAWSとGoogle Cloudのいずれかを選択できます。どちらでも利用できるサービスは同じです。ただし、FedRAMPはAWSでのみサポートされます。
   - Cloud Migration Assessment Appを使用すると、移行時に実行すべき作業を確認し、必要に応じて、エクスポート機能を使って追加レビューやスコープ設定を行うことができます。
   - ハイブリッド環境の場合は追加の考慮事項があります。詳しくは、サービスの説明の「サーチ」セクションを参照してください。

	担当	Splunk Enterpriseのオンプレミス導入	Splunk Cloud
管理タスク：セットアップ時に1回のみ	HWの購入/レンタル	お客様	Splunk
	すべてのHWの設置/配線/ネットワーク接続	お客様	Splunk
	Splunkのインストール	お客様	Splunk
	OSのインストール	お客様	Splunk
	Splunkの設定 (ユーザー作成/アプリ読み込み/システム設定)	お客様	Splunk
	インデックスの設定	お客様	Splunk
	HA/クラスタの設定	お客様	Splunk
	ディザスタリカバリーの設定	お客様	Splunk
	フォワーダーの設定	お客様	お客様
	データの取り込み	お客様	お客様
	LDAP/ADとの統合	お客様	共同
管理タスク：継続的	HWのスケールアップ	お客様	Splunk
	Splunkのパッチ/更新プログラムのインストール	お客様	Splunk
	OSのパッチ/更新プログラムのインストール	お客様	Splunk
	デプロイメントの監視/健全性チェック	お客様	Splunk
	フォワーダーの管理	お客様	お客様
	ユーザー /ロールの作成	お客様	お客様
	インデックスの管理	お客様	お客様
	追加データの取り込み	お客様	お客様
	サーチヘッドのみのアプリの読み込み	お客様	共同
	分散配備するアプリの読み込み	お客様	共同
	プレミアムアプリの読み込み	お客様	Splunk
	データのエクスポート	お客様	お客様
ユーザータスク	検索/アラート/レポート/ダッシュボード	お客様	お客様

Splunkデプロイメントの継続的な管理タスクは12種類あり、Splunk Cloudの場合、そのうちの6つをSplunkが実施

2. お客様とSplunkの共同責任について理解する

Splunk Cloud環境のサポートについては、お客様とSplunkの両者が責任を持ちます。

その目的は、ユーザーエクスペリエンスをできるだけセルフサービス化して、Splunkはそれ以外の管理作業を支援することです(前ページの表を参照)。Splunkが行う必要のあるアップデートは、サポートチケットを発行してリクエストします。対応は、お客様のサポートプランに付随するSLOに従って行われます。P3チケットの概要と応答時間の目安については、「サポートプログラム」セクションを参照してください。

3. サービスの機能を理解する (Appsとアドオン)

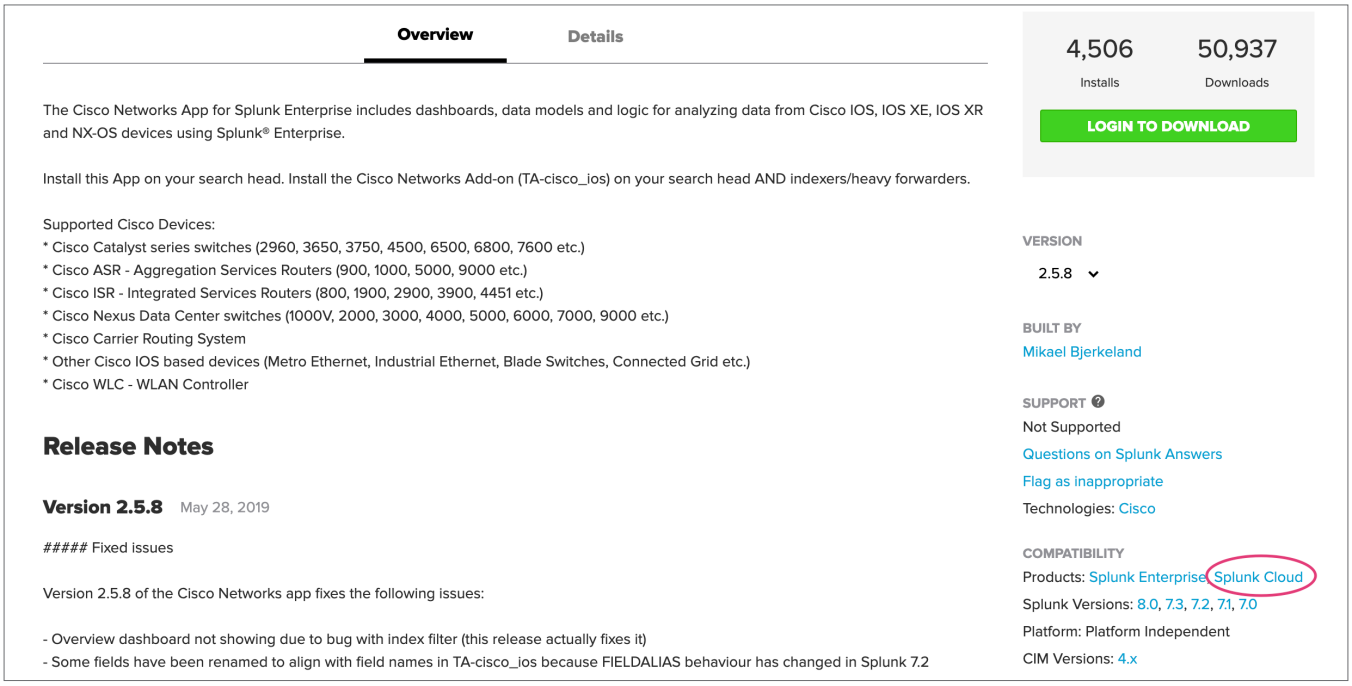
サービスの説明で述べられているとおり、Splunk Cloud環境は厳しいセキュリティ基準およびコンプライアンス基準を満たしています。コンプライアンスに沿った安全で信頼できるサービスの提供を保証するために、Splunk CloudにデプロイされるSplunkのAppsやアドオンは、Splunk Cloudへの対応について承認を受ける必要があります。

標準のSplunk AppsおよびアドオンのSplunk Cloud対応として承認済みです。SplunkbaseではSplunk Cloud互換と表示されています。これらのAppやアドオンは、組織内のSplunk Cloud管理者がUIから直接デプロイすることも、Splunkサポートにデプロイをリクエストすることもできます。

AppやアドオンがSplunk Cloud対応の承認を受けているかどうかは、Splunkbaseの各AppまたはアドオンのページでSplunk Cloud互換と表示されます。承認済みの場合は、互換性のある製品として「Splunk Cloud」が表示されます。

すべてのカスタムAppを含め、Splunk Cloud対応の承認を受けていないAppやアドオンについては、組織内のSplunk Cloud管理者がオンラインで審査を要求できます。審査に合格すれば、管理者は指示に従ってインストールできます。合格しなかった場合は、合格するまでAppのアップデートを求められます。Splunkプロフェッショナルサービスを利用して、Appの審査要件の理解やその後の手順をサポートしてもらうこともできます。

App審査の合格基準については、Splunk Devを参照してください。実行されるチェックは「Cloud」列の「x」マークで示されます。SplunkのAppInspect APIまたはCLI Toolを使って事前にAppを検証することもできますが、いくつかのチェックは手動で行う必要があります。Splunk Devでは、App審査プロセスの概要も紹介しています。



ドキュメント、トレーニング、ヘルプ

- サービスの詳細については、「Splunk Cloudサービスの説明」をよくお読みください。
- Splunk Cloudの操作の概要については、Splunk Cloud Admin Manualを参照してください。
- 現在Splunk Cloud管理者(SC管理者)である方、あるいは今後管理者になる予定の方は、Splunk Cloud Administrationコースを受講してください。また、Splunk Cloudスタックの健全性と使用状況の継続的な監視については、Cloud Monitoring Consoleのマニュアルを参照することもできます。
- Splunk Cloudについてご不明な点がある場合は、Splunk AnswersまたはSplunkマニュアルを参照するか、Splunkサポートにお問い合わせください。変更要求やその他の問題については、Splunkサポートポータルからリクエストを送信することもできます。ご利用いただけるリソースは、お客様のサポート契約によって異なります。

サービスレベル契約とメンテナンスポリシー

Splunkは、次の2つのドキュメントに規定されたSplunk Cloudのメンテナンスポリシーとサービス可用性に基づいてお客様にサービスを提供いたします。

1. Splunk Cloudサービスメンテナンスポリシー：Splunk Cloudの定期メンテナンスやアップグレード時の対応について説明しています。
2. Splunk Cloudサービスレベルスケジュール: Splunk Cloudのサービスレベルコミットメントについて説明しています。アップタイムと可用性へのコミットメント、ダウンタイムに関する免責事項、サービスが停止した場合のお客様の請求権に関する説明が含まれます。このドキュメントは、Splunkのサービスレベル契約(SLA)としてもご参照いただけます。

移行をシームレスに行うために

Splunk Cloudでは、Splunk® Enterpriseの先進的な機能をクラウドベースサービスとして利用できます。そのため、インフラの設計、調達、管理は不要です。また、ニーズに合わせてシステムを簡単かつすばやくスケーリングできる柔軟性を活用できるほか、信頼性とコンプライアンスも確保できます。

Splunkは、お客様がオンプレミスのSplunkソリューションからSplunk Cloudにできるだけシームレスに移行できるよう、さまざまな取り組みを行っています。Splunk Migration Assessment AppによるガイダンスとSplunk Cloudサービスの説明は必ずご参照ください。Splunkプロフェッショナルサービスでは、プロセス全体を支援する移行サクセスサービスも提供しています。

Splunk Cloudへの移行について詳しくは、営業担当者、カスタマーサクセスマネージャー (CSM)、または更新担当者までお問い合わせください。

営業へのお問い合わせはこちら：https://www.splunk.com/ja_jp/talk-to-sales.html
〒100-0004 千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング 8階
www.splunk.com/ja_jp
splunkjp@splunk.com

20-14836-SPLK-Migrating to Splunk Cloud-A4-JA-202010